

山嶽表 終

本書ハ茲歲四月中旬印刷ニ付セシガ、九閱月ニシテ今漸ク完了ヲ見ル、
 マ『山岳會』ノ設立成リ、其機關雜誌タル『山岳』ノ初號ハ、明春三月十五日
 ヲ以テ發刊セラレントス、不肖亦同會幹部ノ一斑ニ列スルノ榮ヲ得タリ、
 乃チ本書ノ誤膠遺脱ハ、『山岳』ノ一端ヲ借リテ以テ増補訂正スル所アルベ
 シ、而シテ『山岳會』ノ主意書規則書ハ別冊トシテ本書ニ附セリ、夫方讀者
 陸續入會アラント切望ス、

明治卅八年十二月廿五日

編纂者 識ス

山嶽表

本書ハ茲歲四月中旬印刷ニ付セシガ九月ニシテ今漸ク完了ヲ見ル
 『山岳會』ノ設立或リ其機關雜誌タル『山岳』ノ初號ハ明春三月十五日
 フ以テ發刊セラレシトス不肖亦同會幹部ノ一環ニ列スルノ榮ヲ得タリ
 然テ本書ノ誤謬遺脱ハ『山岳』ノ一編ヲ借リテ以テ檢補訂正スル所アリ
 シ而シテ『山岳會』ノ主意書規則書ハ別冊トシテ本書ニ附セリ天方讀者
 陸續入會アラシヨヲ望ムス

明治卅八年十二月廿五日

編纂者 識

跋



文士寫山嶽徒脩餅文字
 不遇描其峰岫之形其趣
 煖之狀耳無一記里程之遠
 近峻拔之高卑者其辭能
 妙甚于鐘舌者無益於人

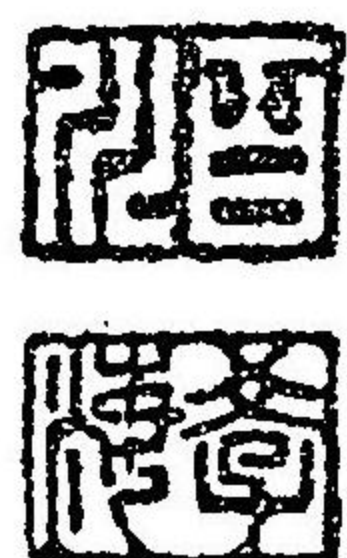
則矣中唐曰夫山一峯石
之多及其甚廣大草木生
之禽獸少之寶藏興宮
古人之重寶用也故何人
不若據之強以取也故三
蜀人高顯或性去山嶽之

遊不其也似向其趣披蒙
群籍細方不遺又身跋險阻
凌寒暑就其地究其理著
日本山嶽志若干卷其志其
志者之波多其及之性行
經歷中洲之至叙備矣其不

復聲

明治卅九年九月

徳田下町子書



明治三十九年二月一日印刷

明治三十九年二月四日發行

日本山嶽志奥付

定價金貳圓

編者 高頭式

東京市日本橋區本町三丁目八番地

發行者 大橋新太郎

東京市京橋區四紺屋町廿六七番地

印刷者 石川金太郎

東京市京橋區四紺屋町廿六七番地

印刷所 英舍

株式會社

著作權所有

發兌元

東京市日本橋區本町三丁目

博

文

館

小島烏水君新著・日本山水論

(再版)

日本山水の美が著者の文に依ていかに發揮されたるを見よ●
 總クローヌ製金文字模倣
 定價 壹圓參拾錢
 郵稅 拾錢
 總紙數菊版三百八十頁

日繪風景畫家三宅克己君畫本紙二頁大寫生水彩畫一葉○高山植物九品を一幅に收めたる彩色精刻石版圖一葉○高山蝴蝶四品の同上圖一葉○別にコロタイプ版二葉○寫眞版六葉○木版七圖いづれも高山深谷未だ曾て世に知られざる奇品を收む

天下に文章家多し然れども文章眼を多し科學的觀察し科學的頭腦を文章の味に啓發する者なし唯夫れ此の雙美を兼ね得るは文章獨り我小島烏水君のみ君の文は華麗にして其紀行文壇の第一人として世に知らるゝ偶然に非ざる君の多年の経験と蘊蓄を傾盡して拮据經營茲に一書なる日本山水論即ち是れ也既に是れ作者得意の書得意の文勃萃る現代科學と文學とを連接する一大著述として世間の渴望無比を絶する著者勿論又た科學と文學とを連接する一大著述として世間の渴望を醫し且つ其注目を煩すべし價値あるものたる君の旅行は古來の神秘境に於て且風景を代表する中央大山系に向ひて連日未だ發見の材料頗る多し岩石植物天象山容水態等百方面に亘り涉獵し普く調査を精確に書机の上で綴りて世界に公する日本山水の青山水は鬚髯として浮び來り二三斗の冷風掬ざるの感者もらんか

發兌元 東京橋尾張一丁目一ノ番 合資會社 隆文館 (電話二五八六番)

小島烏水君新著 不二山

訂正參版 定價四拾錢 郵稅四錢

三宅克己畫伯筆不二山(コロタイプ版)不二山頂亂雲の寫眞(コロタイプ版)著者筆不二山噴火孔說明圖(石版)三葉挿入四六版形 嵩高彩美の新式製本 附録登山案内記及び不二山研究に資する書籍圖畫

著者熱情を傾寫して不二山を中心にして其森林裾野湖沼を詩的繪畫的科學的に極力描寫す麗水氏は本書山頂日出の叙景文を神來の文と賞へ「讀賣」の劔南氏は此の如く能く不二山を研究描寫せる著作は未曾有にして既出不二山美を描きたる第一の書として推薦すと揚げ林田春潮氏は文壇の絶品といひ神彩變々の絶大無韻詩を構成したる富士山頂天象の變化を寫す一段の如き「詩は科學を率ゆ」文壇の地層にこの東海第一の高峻を加へ得たるを悦ぶと激賞せられたり敢て自然を愛する者描かんとする者の一讀を乞ふ

發行所 東京市日本橋區上橫町十番地 如山堂

第十版 日本新地理 全

著君藏傳藤佐 士學理

▲大判 洋装並綴 定價金四拾錢 郵税八錢
▲特製本洋布上綴 定價金五拾五錢 郵税拾錢
本邦の天然地理、人事地理、地方誌の三項を縦横に貫き、確切の統計を基とし、組織巧妙、叙述簡潔、意到筆隨、説き盡くして、除く論奇抜にして説明詳密なり、中等教育の参考書、教科書として世上他に比類あるを見ず、乞ふ一本を購ふて新地理學の眞價値を評するに怠る勿れ。

第八版 萬國新地理 全

▲大判 洋装並綴 定價金四拾錢 郵税八錢
▲特製本洋布上綴 定價金五拾五錢 郵税拾錢
本書は一般人士に向つて世界新地理學の要領を得せしめんが爲めに最新の統計、最新の事實、最新の組織を以て、編纂されたものにして、中等教育地理專門家を始め、一般學生又は實業家の参考に最適の良書たり、殊に本書の特色とする所は本邦に尤も關係多き東洋地理に重きを置き、從來の撰に倣はざるにあり。

法學士 山本信博君著 政治地理學 全

▲大判 洋装並綴 定價金四拾錢 郵税八錢
▲特製本洋布上綴 定價金五拾五錢 郵税拾錢
本書は筆を國家の觀念に起し以下國家の種類、政體、君主、國務大臣、議會、司法、財政、軍務、教育、人口、屬地等の各章に於て各國に關し明細なる記述をなし且つ筆端を進る所國法學、政治學、財政學、經濟學、行政法學、國際法學等の論議を試みたるものにして地球上に於ける人文の配布を描寫したる地理書たる可く各國の現勢を詳悉したる活論文たるべく政治法律の一般を説明したる教科書たるべし。

▲大判 洋装並綴 定價金四拾錢 郵税八錢
▲特製本洋布上綴 定價金五拾五錢 郵税拾錢
地文の學たるや其説く所極めて浩大にして天體の運動、風雨雷震地殼の變動より海潮并に生物或は人類の地球に及ぼす影響に至る迄論及するを以て其關聯する學科と雖も多く從來是等の書上梓せられたるもの少なからず此程度以上の學識ある士の参考に資するものなき實に斯學の爲に遺憾とする所なり本書は即ちこれが缺點を補はんため簡潔なる筆を以て其精を抜き其粹を汲み地文學に關する諸現象の概要を述べられたるものなり。

東京 博文館 發行

理學士 吉田弟彦君著 地文學 全

▲大判 洋装並綴 定價金四拾錢 郵税八錢
▲特製本洋布上綴 定價金五拾五錢 郵税拾錢
地文の學たるや其説く所極めて浩大にして天體の運動、風雨雷震地殼の變動より海潮并に生物或は人類の地球に及ぼす影響に至る迄論及するを以て其關聯する學科と雖も多く從來是等の書上梓せられたるもの少なからず此程度以上の學識ある士の参考に資するものなき實に斯學の爲に遺憾とする所なり本書は即ちこれが缺點を補はんため簡潔なる筆を以て其精を抜き其粹を汲み地文學に關する諸現象の概要を述べられたるものなり。

▲大判 洋装並綴 定價金四拾錢 郵税八錢
▲特製本洋布上綴 定價金五拾五錢 郵税拾錢
地文の學たるや其説く所極めて浩大にして天體の運動、風雨雷震地殼の變動より海潮并に生物或は人類の地球に及ぼす影響に至る迄論及するを以て其關聯する學科と雖も多く從來是等の書上梓せられたるもの少なからず此程度以上の學識ある士の参考に資するものなき實に斯學の爲に遺憾とする所なり本書は即ちこれが缺點を補はんため簡潔なる筆を以て其精を抜き其粹を汲み地文學に關する諸現象の概要を述べられたるものなり。

東京 博文館 發行

新刊 韓國新地理 全

著君彦友淵田 士學文

▲大判 洋装並綴 定價金四拾錢 郵税八錢
▲特製本洋布上綴 定價金五拾五錢 郵税拾錢
本書は内外最も最新の資料に據りて韓國百餘の現在の事態を最も明確に除蘊なく説明したるものにして地理書として最も完全なるものたる而已ならず韓國問題を研究せんと欲する者に向つて所謂時勢の書として最良の参考書なり。故に學術的に韓國を研究せんと欲する者及び將に韓國を一經營を試みんと欲する者は必ずや此書を一讀せざるべからざるのみならず、荷も日本國民たる者這箇新來の一附庸土べの大體を知了せんと欲せば又此書を繙かざるべからざる。

新刊 法學士 勝部國臣著 清國商業地理 全

▲大判 洋装並綴 定價金四拾錢 郵税八錢
▲特製本洋布上綴 定價金五拾五錢 郵税拾錢
本書は支那の通商貿易に關する一切の事項を網羅したる者にして支那に於ける列國の經營及び鐵道の所在地を始めとし、輸出入商品の性質、販路より通貨金融機關、度量衡、關の概況を解説し、殊に右商業地の狀態、商業上の取引習慣及び各地支那商人の風習、嗜好に至るまで之を詳述し、尙支那貿易の爲めに資すべき事項は悉く説き解明し、尙支那に關するものも、又多年職を農商務省に奉じて日夕支那に關する通商貿易を調査したるもの、本書が支那貿易に志す者に向て如何に絶好の指導者たるかは問はずして自ら明なり。

坪谷水哉 君編

日本漫遊案内

上卷(東半部) 下卷(西半部) 定價一冊全壹圓 郵稅拾錢

本書は著者が親しく各地を歴巡して、視察する所に據り大郡名邑勝地舊蹟、神社佛閣、温泉、浴場等の案内は言ふも更なり、海山の形勝、水陸の交通、産業の情況、風俗の美惡、料理店、舟車の費用、土産物の調進に至るまで盡く之を詳記し、傍ら歴史を説き、古

木三郎 君編 旅行案内

旅行案内 關東地方 本卷(東半部) 定價四角正 郵稅六錢

本卷は著者が親しく各地を歴巡して、視察する所に據り大郡名邑勝地舊蹟、神社佛閣、温泉、浴場等の案内は言ふも更なり、海山の形勝、水陸の交通、産業の情況、風俗の美惡、料理店、舟車の費用、土産物の調進に至るまで盡く之を詳記し、傍ら歴史を説き、古

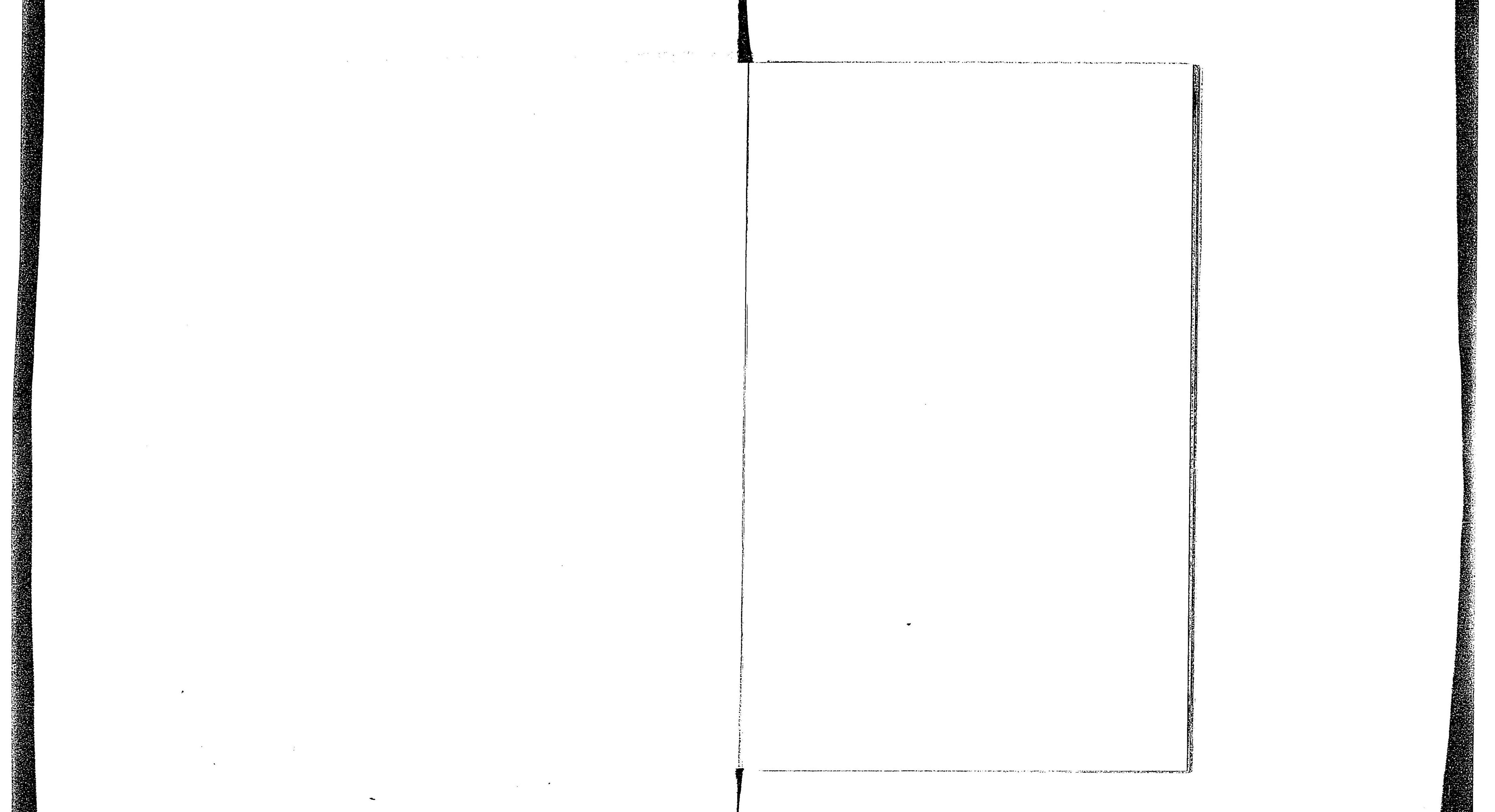
近衛公爵題辭 大河内一子、千種任子君題詠 櫻庭箕村君序文

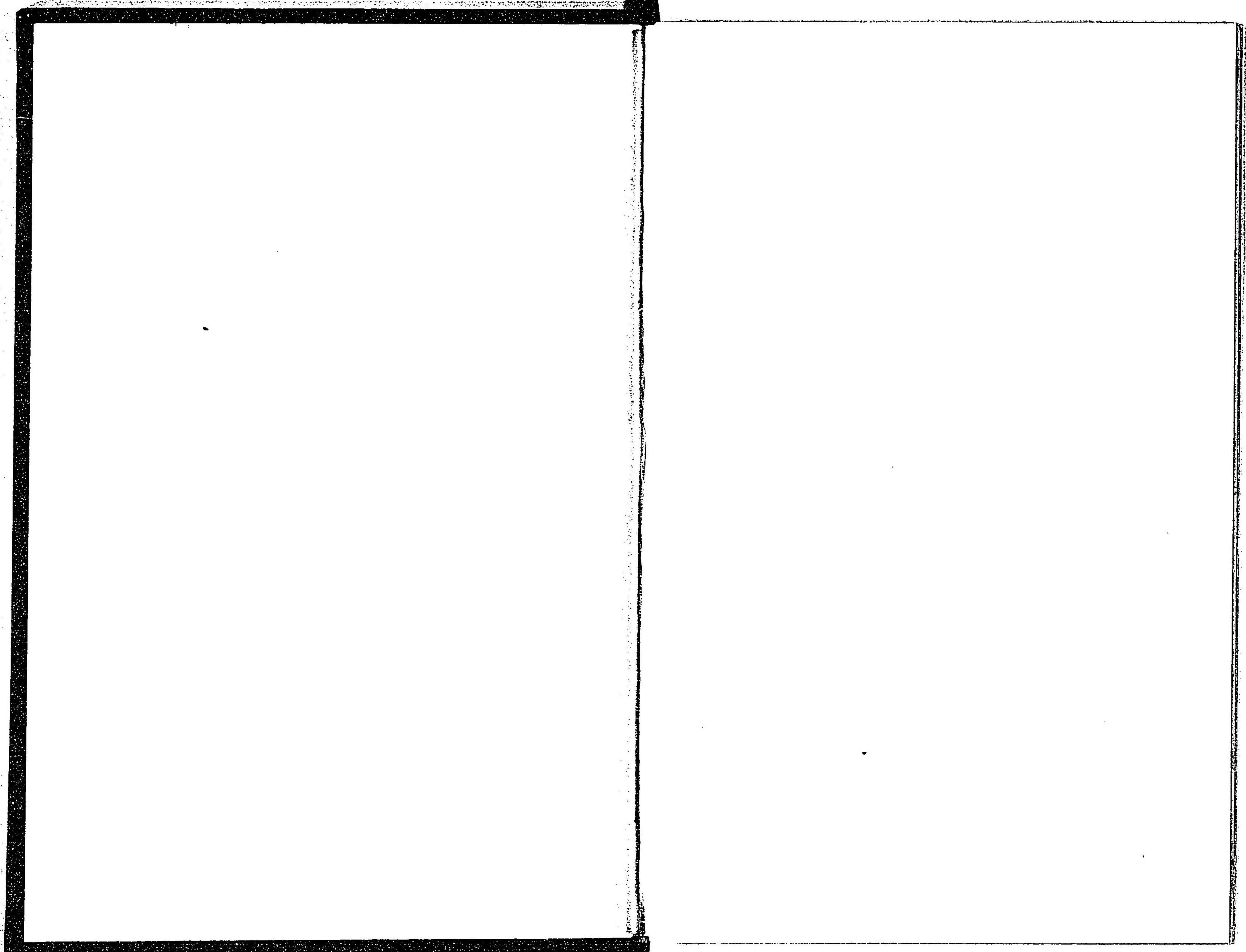
發兌元

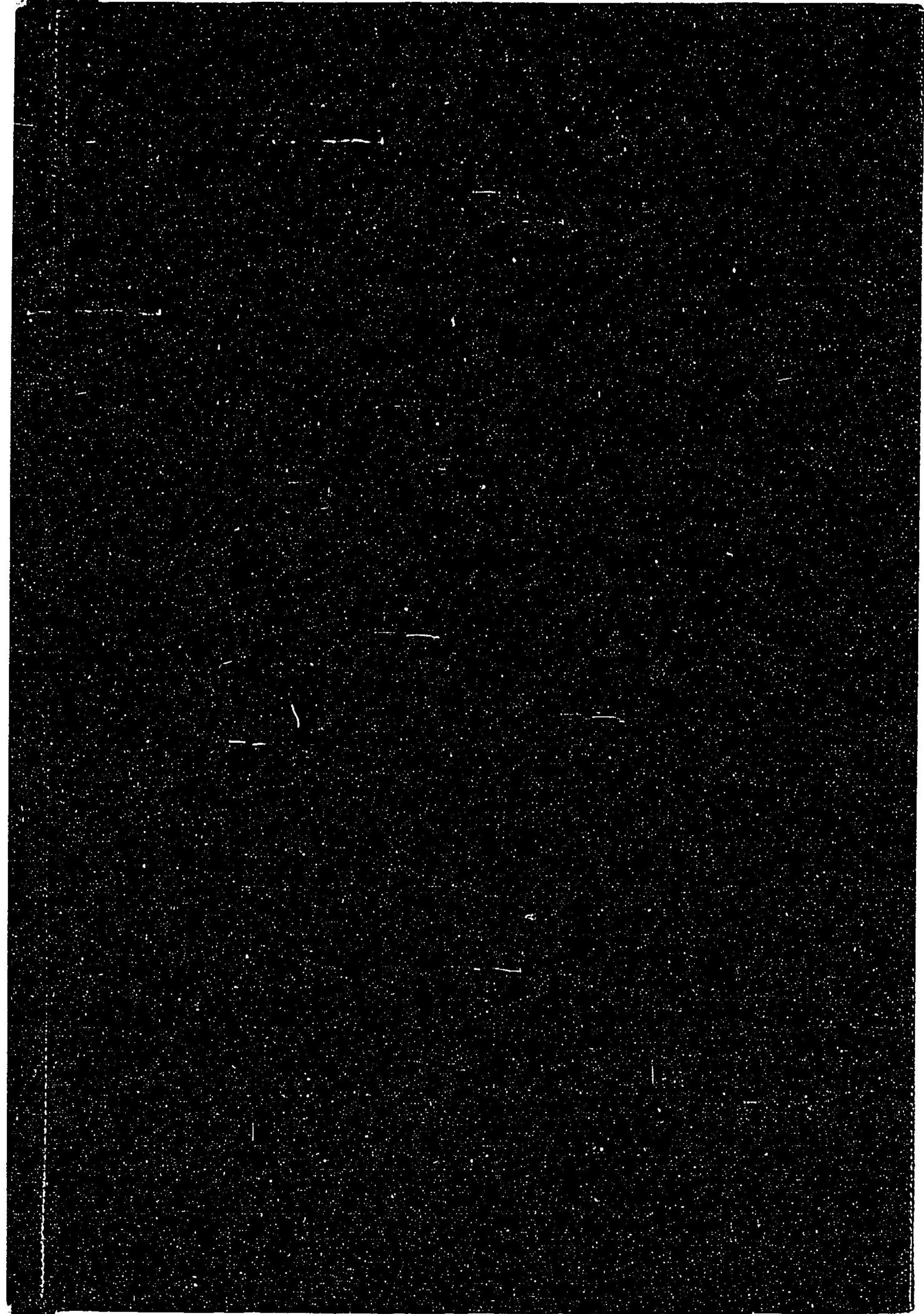
東京日本橋區本町 博文館

大列洋裝飾器寫真版入 金廿五錢郵稅金六錢

須臾も座を離すべからざる重寶無二の奇書にして山水の地位、名所舊蹟の存在、旅行用心集など精細に記載あれば世の紳士淑女隨一の好伴侶なり







23
254

022756-000-0

23-254

日本山岳志

高頭式／編

M39

ADB-0552

